

# 写友会

お客様とキタムラをつなぐ  
コミュニケーション情報誌

カメラのキタムラ

〒222 横浜市港北区新横浜2-4-1  
☎045-476-0777



平成8年3月1日発行 季刊第16号

Vol.16 Spring

特集

# 華

## 自然美が生んだ、暮らしを豊かに彩る心

咲き誇る桜にばかり目をとられていると、このような光景を見のがしてしまう。川の流れが生み出すアクセントが、画面の上と下とで静と動のあざやかなコントラストを見せてくれる。

■カメラ：リンホフマスターテビニカ4×5 レンズ：180mm 絞り：f22  
シャッタースピード：1秒 フィルム：プロビア PLフィルター・三脚使用  
撮影地：新宿御苑 〈撮影〉三好和義氏







枝を覆うように一面に咲く桜があれば、この写真のように枝ぶりを覗かせながら、まるで霞のように咲く桜もある。桜ごとの持ち味を生かすことも大事な。  
 ■カメラ：リンホフマスターテニカ4X5 レンズ：400mm 絞り：f32 シャッタースピード：1/4秒 +1EV補正 フィルム：プロビア 三脚使用  
 撮影地：角館 〈撮影〉三好和義氏



緑・紫・赤といった色は反射が弱いので、そのまま撮ると薄めに写る。したがって見た目の鮮やかさを出すために、マイナス補正をした。(ハス)  
 ■カメラ：ペンタックスZ-1 レンズ：SMC-FAズーム100～300mm F4.5～5.6 絞り：f11 AE -0.5EV補正 撮影地：千葉県泉自然公園にて、曇天に撮影。〈撮影〉高橋扶臣氏

キタムラ・インフォメーション……………18  
 第4回全国紅葉前線フォトコンテスト 入賞作品発表……………19  
 読者のページ 写友会ふれあい広場……………20  
 プレゼントが当たる！クロスワードパズル……………20  
 編集後記……………20

## 連載記事

ぶらりわが街「熊谷」 吉野浩司さん……………9  
 THEフォトワールド④……………10  
 フラワー写真の世界 高橋扶臣氏インタビュー……………12  
 メーカー歴史探訪③ ペンタックス編……………14  
 フォトライフ ステップアップレッスン④……………17  
 無駄を省略した構図で、肉眼のイメージに近づける……………17  
 知って得する写真おもしろ話⑧……………17  
 古き良き時代、世を風靡した二眼レフカメラ……………17

# 特集 華

三好和義氏インタビュー  
 自然美が生んだ、暮らしを豊かに彩る心  
 美しい“華”のある風景は、日本人の心の楽園。  
 キタムラがお薦めする「桜の撮影ポイント」……………6

求められていたのは、内なる進化だ。  
 EOS-1N誕生。

映像と情報のワンダーランドへ  
**Canon**



写真家の道具と呼ぶにふさわしい機能、性能、使い心地。  
 すべてにおいて最先端であり続けるために。  
 揺るぎない実績を礎に、いま新たな完成域へ。待望のEOS-1N。



### EOS-1Nメーカー希望小売価格

EOS-1N ボディ……………¥215,000(税別)	EOS-1N DP ボディ……………¥230,000(税別)
EOS-1N HS ボディ……………¥265,000(税別)	EOS-1N RS ボディ……………¥320,000(税別)
EF50mmF1.4USM……………¥49,000(税別)	

カタログのご請求は、〒108-11 東京都港区三田3-12-15 東急三田ビル キヤノン販売株式会社 EOS-1N保まで、おハガキでどうぞ。 キヤノン株式会社・キヤノン販売株式会社

**Canon EOS-1N**



# 華

## 自然美が生んだ、暮らしを豊かに彩る心

部屋や庭を彩る花、冠婚葬祭を装飾する花。そしてお祝いに贈られる花……。我々日本人の生活に、花はなくてはならないものとなっています。

これほどまでに、花が日本文化に浸透している理由のひとつは、我が国の自然景観がことのほか美しく、四季折々の草木にふれる土壌が整っていたことがあげられます。日本人の間に植物をめぐる心が芽ばえ、積極的に自

然を暮らしの中に採り入れてゆこうとする感覚が、より強く受け継がれているようです。

また、もうひとつの理由として、「花の咲き方で作物の実りを占い、祈願する」という農耕儀礼の習俗があったことも見逃せません。つまり、花に対して「美」的なものと、「霊」的なものを見いだしているのです。

このうち「霊」的なものは、神社で催される「鎮花祭」などの神を祭る行事として発展

する一方、のちに仏教とも結びつき、「花祭り」に代表される仏事にも受け継がれてきました。一方「美」としての概念は、奈良・平安時代の貴族階級に広まった、花を鑑賞物として評価する文化から屏風絵・絵巻物・寺院建築など、色彩豊かな「華」のある芸術文化の形成にも影響を与えています。

また、こうした精神的風土は、文学の世界においても、四季のシンボルとして花を取り

入れる感性を生み出しました。これは万葉集の中に四十種以上の花が登場することや、俳句の季語にしても、早春の梅、四月の桜、そして初夏のサツキなど、多くの花が用いられていることが証明しています。

花見や花祭りなど、春は一年のうちでも花の行事が多い季節。私たちもこうした営みにふれることによって、日本人の精神に流れる「心の華」を見いだすことができるでしょう。



満開の桜はアップでも表現することができる。様々な視点から桜を眺めてもらいたい。  
■カメラ：リンホフマスターテヒニカ4×5 レンズ：210mm 絞り：f32 シャッタースピード：1秒 フィルム：プロビア 三脚使用 撮影地：青森板柳



色彩に変化をもたせた例。こうした写真では、いかに桜であることを見込めるか、ということもまず念頭におきたい。  
■カメラ：リンホフマスターテヒニカ4×5 レンズ：90mm 絞り：f8 シャッタースピード：2分 1/12EV補正 フィルム：プロビア 三脚使用 撮影地：埼玉清雲寺



川の流れの溜りが一面に散った花びらの背景を用意してくれた。周囲への注意深い観察を怠っていたのでは、こうした写真は得られない。  
■カメラ：リンホフマスターテヒニカ4×5 レンズ：210mm 絞り：f11 シャッタースピード：1/18秒 フィルム：プロビア 三脚使用 撮影地：弘前城

梅の咲く時期は桜と違って寒さがまだ厳しい。白梅は紅梅と違って色に温かみが乏しい。そうした素材を使って、春の訪れを告げる温かみをいかに表わすかが工夫のしどころだろう。白梅の上品さを損なわないような気配りも必要だ。  
■カメラ：リンホフマスターテヒニカ4×5 絞り：f8 シャッタースピード：1/60秒 フィルム：プロビア ペリート (フットオーカスレンズ) 三脚・白レフ使用 撮影地：横浜三溪園



動きのある桜の写真というのも、新しい視点を開拓してくれるように思える。  
右 ■カメラ：リンホフマスターテヒニカ4×5 レンズ：305mm 絞り：f16 シャッタースピード：1/30秒 EV補正 フィルム：プロビア ハリソンディフュージョンフィルター・三脚使用 撮影場所：千鳥ヶ淵  
下 ■カメラ：リンホフマスターテヒニカ4×5 レンズ：305mm 絞り：f46 シャッタースピード：1/4秒 フィルム：プロビア 三脚使用 撮影地：千鳥ヶ淵



満開の桜も美しいが、散桜にも独特の風情がある。  
■カメラ：リンホフマスターテヒニカ4×5 レンズ：400mm 絞り：f32 シャッタースピード：1秒 フィルム：プロビア 三脚使用 撮影地：弘前城





# 美しい”華“のある風景は、日本人の心の楽園。

## 三好和義 〈写真家〉

代表的な日本の美観である桜をはじめ、「華」のある風景は、特に春の季節を象徴するものといえるでしょう。現在、「日本の四季を撮る」をテーマに、春の桜を中心とした花の持つ美しさ、そして日本の風景の華やかさを追い続ける写真家・三好和義氏に、「ご自身の作品作りにおける「華」について語っていただきました。

※なお、表紙及び特集ページに掲載した写真は、すべて三好氏の作品です。

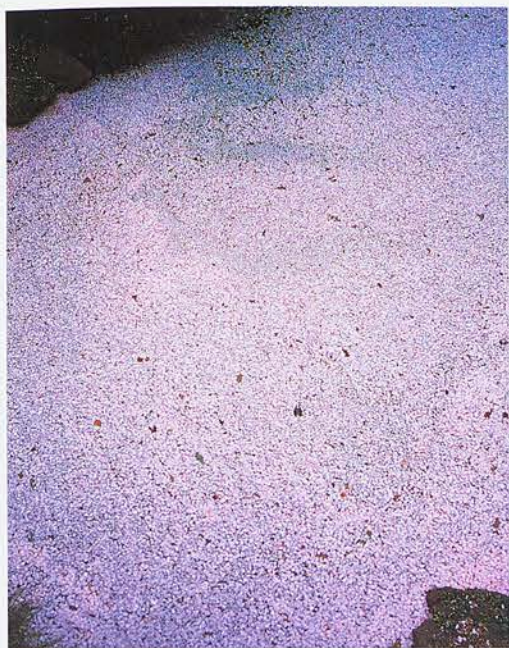
**私が最も華やかさを感じるモチーフ、それはやはり桜ですね。**

「花」の素晴らしいところは、誰が見ても無条件に美しさを感じられる点だと思います。特に春の花は、写真を撮ろうとする時、自然と感情が高ぶってきます。私も初夏の新緑からショウブやアジサイ、そして秋の紅葉といった季節のモチーフを追っていますが、やはりその出発点にあるのは梅、桜といった春の花です。

また、私は今まで地球上の「楽園」をテーマに撮影を続けており、その作品は常夏の南の島で撮ったものが多かったんですが、最近桜や富士山なども撮るようになって、「日本ってこんなに美しいんだ」ということを再認識させられました。このような美しい自然のある日本こそ「楽園」なんだと思うようになったんです。



散桜の季節には川面一面に散った桜の花びらが浮かび、桜の帯ができてあがる。  
■カメラ：リンホフマスターテニカ4×5  
レンズ：135mm 絞り：f16 シャッター  
スピード：1/4秒 フィルム：プロビア  
三脚使用 撮影地：新宿御苑



こうした「日本人の心」のようなものを撮る上でポイントとなるのが「四季」であり、その「四季」を何で表現するのかといったら、やはり中心になるのは「花」ですね。その中でも特に「桜」という被写体は、楽しさ、うれしさを体いっぱい感じながら撮ることができるといいます。春という季節からして、ウキウキするような「陽」の気持ちがあつて働きます。桜は私にとって、日本的な「華やかさ」を代表する花なんです。そうそう、私は桜を撮る際に、よくお弁当や水筒を持っていくんです。すっかり花見気分です。……ひたすらファインダーを覗いているのではなく、とりあえずカメラは横に置いておいて、直に桜を見ながら気分を盛り上げるということも必要です。私の場合、あまり写真のことだけを考え過ぎず、「桜を楽しむ」という気持ちを作品に表現できればいいなと思っています。

**風景の中で、四季の移ろいを表すものが、花なんです。**

私も、最初はどちらかというと、桜そのものを被写体と考えて撮っていたんですが、そのうち桜を撮りに行くと、そのかたわらに新緑が見られたり、コブシや菜の花があつたり

当然のことながら、アップの写真といつても撮り方は一通りではない。あらかじめ撮影のポイントを決めておくと絞込んでおかないと、いい写真は望めない。  
■カメラ：リンホフマスターテニカ4×5 レンズ：180mm 絞り：f22 シャッタースピード：1/2秒  
フィルム：プロビア 三脚使用 撮影地：新宿御苑  
■カメラ：リンホフマスターテニカ4×5 レンズ：210mm 絞り：f5.6 フィルム：プロビア PLフィルム 三脚・白レフ使用 撮影地：弘前城

と、他のものにも自然と目が行き、それらも含めて季節感を表現しようと考えてようになりました。「桜を撮る」という目的に縛られてみると、その時季に見られる他のものは切り捨てがちになるけれど、そうした風景にも目

**難しいテクニクにもトライする。気持ちが良い作品を生むんです。**

春の花としては梅があげられます。これは桜ほどたくさんはつけないが、樹の形、枝ぶりが美しく、やはり撮ってみると結構絵になるモチーフです。桜に比べて香りも素晴る花、という感じがします。桜が「春本番」のウキウキした気分をさせてくれる花だとすれば、その前に咲く梅は、長い冬に終わりを告げ、「春の訪れ」を感じさせてくれる季節感を持った花だと思っています。

**「華を撮る」ということは、私の作品の大きなテーマです。**

私の今年のテーマとしては、典型的な日本の象徴として富士山に注目しています。私自身、日本的な美意識として、あれほどきれいな形はないと感じますし、ひとつの完成された美として写真にしてみたい、と思っております。同じ富士山でも、撮る時期や時間、距離、アングルによって違った貌がありますし、やはり撮っていて楽しくなる気持ちは、桜と共通しています。だから我々日本人が探し求めている心の中の「楽園」が、桜であり富士山なんだと思います。

真下からの逆光の写真。可憐な桜の力強い生命感が浮き上がる。  
■カメラ：リンホフマスターテニカ4×5 レンズ：65mm 絞り：f32 シャッタースピード：1/2秒  
フィルム：プロビア 三脚使用 撮影地：青梅梅寺



真下からの逆光の写真。可憐な桜の力強い生命感が浮き上がる。  
■カメラ：リンホフマスターテニカ4×5 レンズ：65mm 絞り：f32 シャッタースピード：1/2秒  
フィルム：プロビア 三脚使用 撮影地：青梅梅寺

やんわりと眠気を誘うような春の陽光。桜を通じて春という季節を撮っていることも忘れてはならない。  
■カメラ：リンホフマスターテニカ4×5 レンズ：305mm 絞り：f16 シャッタースピード：1/30秒 -1/2EV補正 フィルム：プロビア ハリソンディフュージョンフィルター・三脚使用 撮影地：千鳥ヶ淵



梅は桜と違い、枝ぶりの美しさがひとつのポイントになる。それだけに、背景の整理には十分に気を配りたい。  
■カメラ：リンホフマスターテニカ4×5 絞り：f8 シャッタースピード：1/30秒 フィルム：プロビア ベリート（ソフトフォーカスレンズ）・三脚使用 撮影地：府中郷土の森



背景の整理は、この作品を見てもらってもわかるとおり、決して空抜きばかりではない。バックの緑や紫が、かえって桜を際立たせている点に注意してほしい。  
■カメラ：リンホフマスターテニカ4×5 レンズ：300mm 絞り：f5.6 シャッタースピード：1/60秒  
フィルム：プロビア 三脚使用 撮影地：千鳥ヶ淵





# 夏の撮影ポイント「特派員」大募集!

全国各地の「夏の撮影ポイント」をご自身の作品で紹介していただける「特派員」を、読者の皆様から募集しています。ご希望の方は、プリントした作品に ①お名前・ご住所・電話番号 ②撮影地(県名と場所名) ③交通手段・経路を付記して、

〒222 横浜市港北区新横浜2-4-1 カメラのキタムラ「写友会特派員」係宛に、4月10日までにお寄せください。※作品は返却いたしませんので、ご了承ください。

※ここにご紹介した場所で撮影する場合は、常識的なエチケット・マナーを守るようにしましょう。特に撮影地の所有者及び近隣に迷惑をかけないよう、また自然環境への配慮などを忘れないよう、ご注意ください。

# キタムラがお薦めする「桜の撮影ポイント」

ここに紹介する撮影ポイント及び写真は、第3回全国桜前線フォトコンテストに入賞された方にご協力いただいたものです。説明の番号は①=撮影者 ②=撮影場所 ③=交通手段 ④=撮影チャンス(時期と時間)

※ここに掲載した撮影ポイントは、ほんの一例です。なお、掲載写真は昨年以前に撮影されたものであるため、現在は景観が変わっている場合もありますのでご了承ください。



**12** ①石井恵美子さん ②兵庫県 宍粟郡波賀町 ③JR山陽本線姫路駅→神姫バス鳥取行き→波賀町役場前下車→川沿いを波賀温泉に向かって徒歩 ④4月中旬

**16** ①河田隆弘氏 ②山口県岩国市 錦川に架かる錦帯橋 ③JR山陽本線岩国駅→市営バス→錦帯橋下車 ④4月上旬午前10時頃(人出が多いので早朝が良い)

**15** ①胡摩田真雄氏 ②鳥取県西伯郡大山町 ③JR山陰本線大山駅→バス ④4月下旬午後2時頃

**14** ①山本敏盛氏 ②広島県庄原市 上野公園 ③JR芸備線庄原駅→徒歩10分 ④4月中旬

**13** ①円堂信義氏 ②岡山県真庭郡落合町 別所 吉念寺集落 ③JR姫新線美作落合駅→タクシー30分(約1.6km) ④4月中旬午前8時頃(人出が多いので早朝が良い)

**7** ①山崎利夫氏 ②長野県松本市 弘法山 ③JR中央線松本駅→松本電鉄バス中山線→和泉橋下車→和泉川に沿って徒歩20分 ④4月中旬~下旬

**6** ①勝亦孝峰氏 ②静岡県静岡市 足久保 諸川の池 ③JR東海道線静岡駅→静鉄バス大谷→美和線奥長島行き→八州岡下車→足久保川に沿って徒歩15分 ④4月9~10時頃

**5** ①茂泉隆二氏 ②千葉県富津市 マザー牧場内 ③JR内房線佐貫町駅→バス20分 ④4月上旬~中旬 午前中

**4** ①佐藤進氏 ②栃木県小中町の大滝 ③JR足尾線小中駅→小中川に沿って徒歩約2時間(車で15分) ④5月上旬午前10時~午後3時

**20** ①永露憲治氏 ②熊本県菊池市 菊池 ③九州自動車道植木IC→菊池温泉→菊池溪谷 ④4月上旬午前9時頃

**19** ①飯本久美子さん ②高知県 吾川村 ③JR土讃線佐川駅→JRバス松山行き→大崎下車 ④4月上旬~中旬

**18** ①壺内和也氏 ②愛媛県東宇和郡野浜町 大字 依津 野福峠 ③JR予讃本線卯之町駅→バス約10分 ④3月下旬~4月上旬 終日良し

**17** ①岩崎英昭氏 ②香川県三豊郡 詫間町 荘内半島の紫雲出(うで)山山頂 ③国道11号 善通寺と観音寺の中間三野町から詫間町方面へ海岸沿いを行く ④4月上旬午前9時頃

**11** ①阪之上敏博氏 ②奈良県吉野郡 吉野山 ③近鉄吉野線吉野駅→ロープウェイ吉野山山頂 ④4月中旬 早朝が良い

**10** ①江国純士氏 ②京都府京都市 平安神宮 ③JR京都駅→市バス ④4月上旬

**9** ①片岡喜久夫氏 ②三重県松阪市 六呂木 ③JR紀勢本線松阪駅→三重交通バス波瀬線→六呂木下車→小片野方面へ徒歩3分 ④4月上旬午前10時頃

**8** ①武田秀樹氏 ②富山県安住町 安住橋より松川(通称=親池) ③JR北陸線富山駅→富山大学行き市電 ④4月中旬 午後6時頃(屋形船の提灯が灯る頃)

**12** ①石井恵美子さん ②兵庫県 宍粟郡波賀町 ③JR山陽本線姫路駅→神姫バス鳥取行き→波賀町役場前下車→川沿いを波賀温泉に向かって徒歩 ④4月中旬

**16** ①河田隆弘氏 ②山口県岩国市 錦川に架かる錦帯橋 ③JR山陽本線岩国駅→市営バス→錦帯橋下車 ④4月上旬午前10時頃(人出が多いので早朝が良い)

**15** ①胡摩田真雄氏 ②鳥取県西伯郡大山町 ③JR山陰本線大山駅→バス ④4月下旬午後2時頃

**14** ①山本敏盛氏 ②広島県庄原市 上野公園 ③JR芸備線庄原駅→徒歩10分 ④4月中旬

**13** ①円堂信義氏 ②岡山県真庭郡落合町 別所 吉念寺集落 ③JR姫新線美作落合駅→タクシー30分(約1.6km) ④4月中旬午前8時頃(人出が多いので早朝が良い)

**7** ①山崎利夫氏 ②長野県松本市 弘法山 ③JR中央線松本駅→松本電鉄バス中山線→和泉橋下車→和泉川に沿って徒歩20分 ④4月中旬~下旬

**6** ①勝亦孝峰氏 ②静岡県静岡市 足久保 諸川の池 ③JR東海道線静岡駅→静鉄バス大谷→美和線奥長島行き→八州岡下車→足久保川に沿って徒歩15分 ④4月9~10時頃

**5** ①茂泉隆二氏 ②千葉県富津市 マザー牧場内 ③JR内房線佐貫町駅→バス20分 ④4月上旬~中旬 午前中

**4** ①佐藤進氏 ②栃木県小中町の大滝 ③JR足尾線小中駅→小中川に沿って徒歩約2時間(車で15分) ④5月上旬午前10時~午後3時





曼珠沙華 日高町の巾着田(きんちゃくだ)と呼ばれる高麗川の川岸に、数万本の彼岸花の群生地があります。彼岸の頃は大変見事で、撮影地としても有名であり、多くのカメラマンが訪れます。  
 ■カメラ: ニコンF90 レンズ: 28~70mm 絞り: f11 シャッタースピード: オート フィルム: プロビア100 CPLフィルター使用



森林公園 熊谷からほど近い滑川町にある国営武蔵丘陵森林公園です。県内・外から多くの人々が訪れ、丘陵と森林の広々とした公園で、余暇を楽しんでいます。  
 ■カメラ: ニコンF90 レンズ: 80~200mm 絞り: f8 シャッタースピード: オート フィルム: ベルビア



古木の春 荒川村青雲寺はしだれ桜の名所で、ここも多くのカメラマンが訪れます。この桜は竹内敏信さんの写真集「桜」の表紙を飾った木ですが、最近では傷みも進み、延命措置が施されています。  
 ■カメラ: ニコンF90 レンズ: 80~200mm 絞り: f11 シャッタースピード: オート フィルム: ベルビア CPLフィルター使用



滝景 越生町にある黒山三滝のひとつで、小さな滝ながら趣きのある滝です。この付近は梅林も有名で、春は大変賑わいます。  
 ■カメラ: ニコンF90 レンズ: 28~70mm 絞り: f4 シャッタースピード: オート フィルム: ベルビア CPLフィルター使用



渓谷秋景 大滝村の中津川溪谷は紅葉の名所で、シーズンには大勢の人々が見物に訪れます。紅葉に映える溪谷は日本の美の代表でもあります。  
 ■カメラ: ニコンF90X レンズ: 28~70mm 絞り: f11 シャッタースピード: オート フィルム: ベルビア CPLフィルター使用



吉野浩司氏 第3回全国桜前線フォトコンテストで、作品「堂々と」(写真第14号に掲載)により最優秀グランプリを受賞。

晩秋の滝 両神村小森川上流にある滝で、岩肌を滑るように落ちる美しい滝です。  
 ■カメラ: ニコンF90 レンズ: 80~200mm 絞り: f8 シャッタースピード: オート フィルム: ベルビア



札所にて 秩父札所34ヵ所は秩父市を中心に点在しており、札所めぐりの人々の信仰を集めています。小さなお寺にも歴史と文化を感じます。  
 ■カメラ: ニコンF90 レンズ: 28~70mm 絞り: f8 シャッタースピード: オート フィルム: プロビア100



公園沼の秋 大宮市にある大宮公園で、周囲の公共施設と共に市民の憩いの場となっています。春の桜は県内でも有数です。  
 ■カメラ: ニコンF90X レンズ: 28~70mm 絞り: f8 シャッタースピード: オート フィルム: ベルビア



# ぶらり わが街

## 熊谷

埼玉県熊谷市  
吉野浩司 さん

私はこの熊谷に12年住んでいます。埼玉の県北では中核都市で、県央へ勤める人々のベッドタウンとなっています。また、群馬に近いので、からっ風が吹いてくるような土地柄でもあり、都会っぽさと田舎っぽさをほどよく併せ持った環境が、私は気に入っています。私は自然を撮るのが好きで、写真ではネイチャーフォトを中心に手がけていますが、埼玉では秩父方面によく出かけます。キタムラの桜前線フォトコンテストでグランプリをいただいた作品のモチーフである荒川村の桜や、中津川溪谷にある大滝村の紅葉などは絶好の被写体です。自然の景色以外にも、お寺の札所やわらび屋根の民家など情緒ある風景が多く、皆さんにも撮影地としておすすめです。

全国各地で熱心に撮影活動を行っている写真ファンの方々に、地元の名所を自身の作品で紹介していただくこのコーナー。今回は、昨年の全国桜前線フォトコンテストで見事グランプリを受賞した、埼玉県熊谷市にお住まいの吉野浩司さんに「ご登場いただきます。」

# Nikon



人への優しさをめざした、  
フラッシュ内蔵AF一眼レフ。



## Nikon F70D PANORAMA

■大型液晶表示パネルによる、こちよ操作性 ■光の状態を知る3D-8分割マルチパターン測光 ■感性に応える多機能スピードライト ■最適な光をあてる3D-マルチHL測光 ■しっくりと手になじむフォーム ■静かな操作音 ■すばやく確実なオートフォーカス ■思いをかたちにするイメージプログラム ■撮る楽しさを広げる外部切り換え式パノラマ

カタログを参照してください。機種名(社名)をご明記の上、100-81(東京中央郵便局私通箱1265号)株式会社ニコンへお客様相談室までご連絡ください。

Nikon 株式会社 ニコン 本社 100東京都千代田区丸の内3-2-3(富士ビル)

希望小売価格(税別) ボディ本体 ¥95,000(ブラックのみ/ストラップ付)  
 AFズームニコールZ8-80mmF3.5-5.6D付 ¥128,000

そろそろ「いい写真が撮りたい」という方に。

(コンパクトカメラ感覚で一眼レフの写真が撮れる。4倍ズーム一体型一眼レフ、オリンパスから。)



大光量フラッシュ搭載、4倍ズーム一眼

## 新登場 L-10 SUPER

希望小売価格(税別) ボディ本体 ¥71,500(フォーサーズ111本体)  
 アクシオンケースC2付

# OLYMPUS

(人から発想します。オリンパス)

離れていても大きく撮れる、  
28~110mmの4倍ズーム。



## 4xZOOM

かしこく光る、  
大光量ツインフラッシュ。

全機GN  
18S14!

## High-Power Twin Flash



ワンタッチで一眼レフの写真が  
撮れる、イメージセレクトボタン。

見たまがくっきり写る、  
一眼レフファインダー。

雄大な風景がしっかり撮れる、  
ワイド28mmレンズ。





つる状に咲く花は、なかなか絵になる姿にお目にかかれませんが、これは数少ない理想的な花の付き方のひとつ。花の曲線や方向性が素晴らしい。(アサガオ)  
 ■カメラ：ペンタックスZ-1P レンズ：SMC-FAズーム28~105mmF4 ~5.6 絞り：f8 AE 撮影地：向島百花園にて、曇天に撮影。



球形に咲くこの花は、非常にフレーミングしにくく、部分的にカットするなどの工夫が必要。この場合はヤマモの葉が絡んでいるのが味付けとなっている。(タマアジサイ)  
 ■カメラ：ペンタックスZ-1 レンズ：SMC-Aマクロ200mmF4 絞り：f11 AE -0.5EV補正 撮影地：千葉県松戸市本土寺にて、曇天に撮影。



逆光の場合、背景が暗くなって露出も難しいが、被写体の輪郭が浮き上がる効果が得られる。後方の木漏れ日は、開放によって丸みを出すことができる。(ネコヤナギ)  
 ■カメラ：ペンタックスZ-1 レンズ：SMC-FAマクロ100mmF2.8 絞り：f2.8 AE -0.5EV補正 撮影地：福島県渡利にて、晴天に撮影。



たかはし ふみお  
 1931年千葉県生まれ。69年に二科会写真部に応募を始める。72年より現在まで、カメラ雑誌ほかで執筆活動。80年に秋山庄太郎氏らと「花の会」を結成。88年から現在まで、西武コミュニティ・カレッジで写真講座を担当。二科会写真部審査員。花の会本部常任理事。92年には初の写真集「花づくし」(日本カメラ社)を出版。

シクラメンは、花がすべて下を向くので非常に扱いにくい。手前にある別の花をボカした「前ボケ」の効果は、覚えておいて損はないテクニックのひとつである。(シクラメン)  
 ■カメラ：ペンタックスLX レンズ：SMC-Aマクロ200mmF4 絞り：f4 AE 撮影地：神代植物園



よりファンタジックな雰囲気を出すために、f5.6でバックのボケを強くし、主題の花を強調。色彩的な味付け効果として、左側の葉を添えてみた。(ケマンソウ)  
 ■カメラ：ペンタックスLX レンズ：SMC-Aマクロ200mmF4 絞り：f4 AE -0.5EV補正 撮影地：新潟県湯沢町アルプの里にて、晴天に撮影。



# フラワー写真の世界

すべての人が分かち合える美しさが、花の一番の魅力。

高橋扶臣氏 <写真家>

THE  
 フォトワールド  
 ④

花という被写体は、図説的な記録写真として、風景写真やネイチャーフォトとして、またアートの静物写真としてなど、さまざまならえ方・写し方ができる、非常に奥の深い写真モチーフといえる。今回お話を伺った高橋扶臣氏は、もともととはドキュメント関係の撮影を中心に活動されていたが、ある時体を悪くしたという。その折に何が撮れるかと考え、入院中病室の枕元にあって心をなごませてくれた「花」を思い出したのが、このジャンルを手がけたきっかけだと高橋氏は語る。「以前はあまり気にもとめなかった花を、この時から被写体として意識するようになりました。もともと日本は、特に花の多い国柄です。これならライフワークとして生涯撮り続けられるモチーフだと思っただけです。こんな彼が、初めて出版した写真集「花づくし」を眺めてみると、四季折々の花々が織りなす自然の色彩が、時には強烈に、時には優しく、それぞれの最も美しい姿を見る者に主張しているように感じられる。



チューリップ畑の中に顔を出すナノハナを遠望遠で撮影。ピント範囲は狭くなるが、ボケ味の中でより一層ナノハナを強調させる凝縮効果を狙った。(ナノハナ・チューリップ)  
 ■カメラ：ペンタックスLX レンズ：レフレックスズーム400~600mmF8~11 絞り：f8 AE 撮影地：富山県砺波市にて、曇天に撮影。

真のあらゆるテクニックが要求されるという。その第一にあげられるのが「ピント」の問題。花を接写で撮るとなると、ミリ単位の精度が要求され、ピントの合っている範囲とボカす部分の兼ね合いも難しい。また作品を見る側が花に対して感じている「絶対色」というものが存在するため、写真にした時に、その色を忠実に再現しなくてはならない。そのため、光の強弱や方向を思いどおりにコントロールすることが大前提で、撮影に使うフィルムや現像するラボにも特にこだわる必要がある。「このシビアさに、また写す側としては惹きつけられるんですよ。長年撮り続けていても、本当に満足いく作品というのはなかなか撮れませんね。カメラマンの思いというものは限らないもので、今までの作品

花を撮っていると、昆虫ともしばしば出会う。注意深く撮りながら、理想的なフレーミングまで近づきたい。絞りは上げて早いシャッターを心がける。(キハナフスエズメ蝶)  
 ■カメラ：ペンタックスZ-1P レンズ：SMC-FAマクロ100mmF4.5~5.6 絞り：f5.6 AE -0.5EV補正 撮影地：山梨県花の都にて、晴天に撮影。



より今年の方がいい写真ができるのではないかと毎年期待して、出かけてゆくんです。このように、高橋氏は季節ごとの花を求めて精力的に各地の植物園や公園へ、また自然の野山へと撮影を続けているわけだが、特に好むのは春の東北地方で、いろいろな植物が一度に開花するのが魅力的だという。「福島の花見山公園で、ハナモクレン・コヒガンザクラ・モモなどが、ひとつの場所に所狭しと咲き乱れる様子などは壮観ですね。また、青森の弘前城にある植物園なども、何十回行っても飽きないほど、花の種類が豊富なんです」。

ただし、春の花に限らず、一番の見頃になったり合わせて行くのは難しいため、撮り損なわないように、早目の時期に行くことが大切だという。行った時に花の盛りが過ぎてしまっていたら、もう次の年まで待つしかない

「もうひとつアマチュアの皆さんに言っておきたいことは、自分が目の前にある花を撮りたいと思うたらず、そこでよく考えてみることで、写真教室の講師としても経験豊富な高橋氏は、

が、早目に行ったのであれば、また出直すなり、そこにしばらく滞在して時期を窺うなど、打つ手はある。そこでまずロケハンをして、「咲いた時にはこう撮ろう」と考えておく余裕も持てるわけだ。「まあ、それにしてもこれから花の撮影に挑戦しようという方には、あまり遠慮をせずに、自分の身近な場所から撮り始めることをおすすめします。近くの植物園などに行けば、それなりの絵になるロケーションができていくはずですし、一度にたくさんのお花が見られます。また、きっと同じように撮影で来ている方がいるはずですから、仲間を作って情報交換するのも役立つと思います」と、高橋氏は我々アマチュアへのアドバイスをしてくれました。

「あと、最低限のマナーとして、民家の庭などに咲いている花を撮る時には、持ち主にひと声かけて断るべきですね。だまって撮っていたら怪しまれるけれど、「きれいな花なので撮らせてください」と言えば、先方も悪い気はしないので、快く応じてくれるはずですよ」と高橋氏。それだけ花というのは、人の心に共通の喜びやふれあいをもたらす、素晴らしい自然の贈り物であるといえるだろう。



## ペンタックス編

# 一眼レフの先駆メーカーとして、 数々の個性的な製品を開発。

ペンタックスのカメラといえば、「小型・軽量」で使いやすいというイメージを、皆さんも持ちましょう。今回は、常に撮影者の操作性に配慮した開発思想と、他社に追随しない独自の技術によって、数々のユニークな製品を世に送り出してきた旭光学工業を訪ねてみた。

「独自の製品作り」にこだわり、いち早く一眼レフに着目。



**アサヒフレックスI (1952年)**  
国産初の35mm一眼レフカメラ。シャッターボタンを押している間だけ、ミラーが跳ね上がる方式。37mm径スクリュウマウント、タマ-50mmF3.5付き。布幕フォーカルプレーン、B・1/20~1/500秒。透視ファインダー付き。



**アサヒペンタックス6×7 (1969年)**  
120.220サイズのフィルムを使用、6×7センチ判の写真を10枚または20枚撮影できる中判一眼レフカメラ。電子制御の布幕シャッターで最高速1/1000秒まで撮影可能。交換レンズも魚眼から大口径まで豊富に揃っていた。



ペンタックスの現在の正式名称は「旭光学工業株式会社」。1919年に「旭光学合資会社」として創立している。当初はメガネや映写機などのレンズ製造を手がけるメーカーとして発足し、その後カメラメーカーにレンズを供給するようになったのが、カメラと関わる最初の一步である。

第二次大戦後の復興期には、双眼鏡の製造に活路を見いだしたが、それはホケットに入る超小型のもので、他社にはない製品として人気を博したという。そこには「他社の真似はせず独自のものを作る」という心意気があった。現在のペンタックスのカメラの特徴である「小型・軽量」の理念につながるものが、当時の製品からも窺えるのが興味深い。

そして1952年に、同社としては初のカメラ製品「アサヒフレックスI (1952年)」と名付けられたペンタックス最高機種「旭光学の35mm一眼レフ」として、初めてペンタプリズム・ファインダーを交換式にしている。耐水性の高いボディも注目を浴びた。

メラ製品・アサヒフレックスIが発売されたが、これは国産初の35mm一眼レフでもあった。つまり、旭光学は最初から一眼レフを手がけたカメラメーカーなのである。

「その頃の他社の主要なカメラ製品は、一眼レフからやつと連動距離計付き35mmに移行しようかという時期でした。そんな時代に「これからは一眼レフでなければ」と判断したのですが、そうした発想は、当時としてはそうすんなりとは受け入れられない状況だったのではないでしょうか」と語るのは、ペンタックス販売(株)商品企画室長の蛸間宏氏。すでに



旭光学工業(株)ペンタックスフォーラム 野村勝彦所長

にその時、後にカラー写真の時代が来ることを予見し、「カラーを撮るには一眼が最適」と考えたことは、まさに先見の明があったと言える。こうして旭光学のユニークなカメラ作りがスタートする。

**業界をリードする優れた技術でカメラの発展に大きく貢献。**

旭光学のカメラ開発の歴史には、いくつかの画期的な技術革新があった。そのひとつはアサヒフレックスIの改良型であるII型に採用された、世界初のクイックリターン方式。初期の一眼レフにはシャッターを切った瞬間に、ファインダーの中が真っ暗で何も見えなくなってしまう欠点があった。しかしこのII型では、シャッターを切ると瞬間的にミラーが戻る機構(クイックリターンミラー)に



ペンタックス販売(株)販売推進課 茂木秋平課長



**アサヒペンタックスAUTO 110 (1980年)**  
110サイズフィルムカートリッジカメラを一眼レフ化した製品。本格的なオートドライブも装着可能な派であった。電子制御プログラムシャッターや、SPD受光素子を用いたTTL中央重点平均測光式プログラムAEを採用。

その後「一眼の旭光学」は、6×7サイズから110サイズまで、様々なタイプの一眼レフカメラを発表するが、中でも特にペンタックス

「絞りとシャッター」という、一眼レフの最も基本的な部分における操作性を、ハイテクの中で最大限に活かしたのがその代表機種Z-1です。次のシリーズの先兵として昨年発売したMZ-5も、こうした基本を重視し、より使い手の操作性に配慮したカメラなんです。そのために、ボディもMEと同じくらい小さくしました」と、ペンタックス販売(株)販売推進課長の茂木秋平氏は語ってくれた。



ペンタックス販売(株)商品企画室 蛸間宏室長

さらには3つ目の技術としては、1964年のSPに採用されたTTL測光があげられる。「TTLスルー・サ・レンズ」という名称は、当社で付けたものなんです。それまでの、使い方が難しかった露出方式に代えて、誰にでも正確・簡単に使えるようにと開発されたのが、レンズを通して光の量を直接測る一眼レフに合理的なこの方式だったんです」と語るのは、旭光学工業(株)で現在ペンタックスフォーラム所長を務める野村勝彦氏。旭光学が独自に開発したこれらの技術が、他社も含めた現在の機種多くに受け継がれている点は、特筆すべきであろう。

さて、90年代に入ってペンタックスからリリースされたのが、ご存じZシリーズ。これまで数々の優れた技術で業界をリードしてきた旭光学だが、このシリーズでは「AFでありながら、あくまでも撮影者の意志に基づいて動くカメラ」を心がけたという。



**ペンタックスZ-1P (1994年)**  
最高級モデルZ-1に新たな撮影モードなどを加えて機能を向上させるとともに、操作性を高めて使いやすくした最高級AF一眼レフ。



**ペンタックスM F (1981年)**  
世界最初のTTLオートフォーカス一眼レフ。MEスーパーを土台に、MOS型イメージセンサーをカメラ底部に入れたコンラストラ方式のAF機。AFレンズとボディマウント部に、AF用の接点が新設されている。



**ペンタックスMZ-5 (1995年)**  
「誰もが戸惑わずに操作できる」ことをコンセプトに、ダイヤルやレバーの表示を「見ながら」操作する方式を採用した、世界最小AF一眼レフ。

最後に、今後の展望をお聞きすると、野村所長が「当社は一眼レフの先駆メーカーといわれていますが、ズームコンパクトカメラのバイオニアでもあるんです。一眼レフだけでなく、こちらにも一層力を入れてゆきたいですね」と答えてくれた。こうした部分にも、独自性と「小型・軽量」を追求してきた旭光学の基本理念が生きて続けているのであろう。

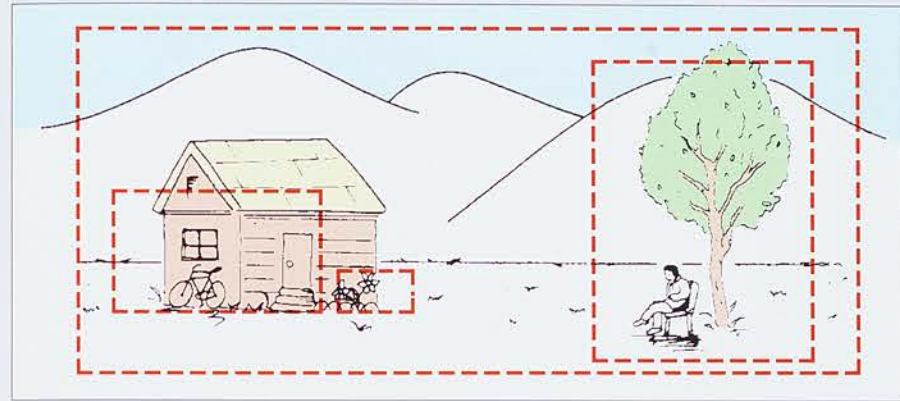


**アサヒペンタックスSP (1964年)**  
1960年のフォトキナで発表した世界最初のTTL測光機構内蔵の試作機「スポットアイ」の量産型。絞り優先のTTLで平均測光式。ロングセラー製品となった。



# 無駄を省略した構図で、肉眼のイメージに近づける。

写真を撮る際の三大要素はピントと露出と構図です。ピントも露出も合っているのに、何か物足りない、自分のイメージ通りの写真が撮れない、といった経験をお持ちの方も多いのではないのでしょうか。このような場合は構図に原因があることが多いのです。



連続した一つの風景の中から、自分が興味を持った部分だけを切り取る。自分が何に感動したのか、また、どのように表現したいのかによって、切り取り方は変わってくる。



和風の家を背景にした「しだれ桜」。垂れ下がった枝の先端をカットすることで、迫力を強調している。



下の欄と右の竹もカットすると、さらに迫力が増す。ちなみに、しだれ桜を撮る場合は、ピントを枝に持っていくとよい。



6×6サイズを使用。上の白い看板と屋根のテカリが気になる。



余分なものをカットした例。桜がより際立っている。

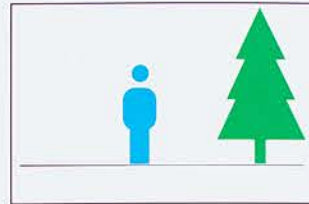


口紅、胸元の襟、帯と、赤が3カ所に散らばっている。

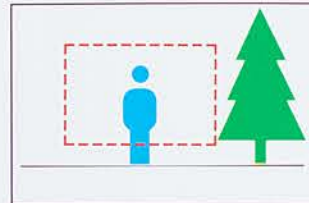


邪魔な右ののれんの端をカット、左は柱だけを残した。色の配置でフレームを決めた例である。

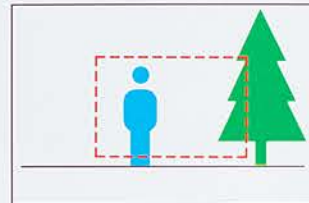
まずテーマを決定し、写真のイメージを創ることが、構図を決めるポイントとなります。



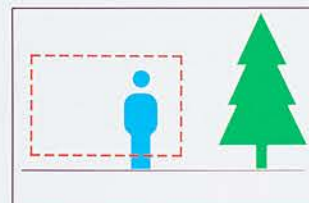
見えた風景です。人物と木があります。この風景から何を表現するかでフレームは変わってきます。



単純に人物を中央に持ってきただけでは、印象の薄いつまらない写真になってしまいます。



フレームを右に寄せて木を入れることで、構図に変化をつけます。



テーマを人物に絞るのであれば、背景にもよりますが、左側の空間を取ると良いでしょう。

肉眼で見た世界と、カメラのレンズを通して見た写真の世界とは、真のイメージと異なる場合があります。それは人間の目は遠近感を自在に調整することができるからです。例えば、背景の余分なものは、より小さく感じるか、時にはまったく目に入らないことさえあります。ところが写真は人間の目よりもずっと平面的で、遠近感の調整にも限界があるのです。ですから、肉眼で見たときには目立たなかった背景も、写真になってみると妙に強調されて、写そうと

肉眼で見た対象が背景に溶け込んでしまっているといったことが、ビギナーの場合にはままあるのです。

写真を撮る時に「対象物以外はなるべく省略しろ」とはよく言われることですが、これはそうした人間の目の特徴に、写真を少しでも近づけるための心掛けなのです。ここに掲載した写真の例でも、いかに無駄なものを省略するか、という点にポイントが置かれていることに注意してください。

構図にはこのほか、黄金分割や明暗差、あるいは対象物が画面に作り出す対角線などの重要なポイントもあるのですが、今回はそうした説明的なことから離れ、人間の肉眼で見た世界とカメラのレンズで見た世界の違いから、構図を探ってみました。



通行中の人物の撮影は難しい。最後部の人物を入れるべきかカットすべきか迷うところだ。



結局、最後部の人物を残して写真に動きを与えた。前方の開きをカット。また、舞子の裾の赤を活かすため、上の赤い看板もカットした。



襟足を強調するために左右をカットし、単独のアップとする。傘の柄がなければ右の人物を活かしたいところだ。縦の線は邪魔になることが多い。



左をカットして縦位置の写真に変更。荷物はひとつの方が印象は強まる。

RICOH

コンパクトの価値を進化させて、R1sデビュー。



驚きの薄さ  
25mm  
(フリップ部を除く)

R1s

カラー/プラチナムシルバー、グレイッシュグリーン、チタニウムブラウン メーカー希望小売価格 41,000円(税別、送料別)

5★

リコーR1は、国内外で、5つの賞を獲得。

「コンパクトカメラ オフ ザ イヤー」アマチュアフォトグラファー誌(イギリス)  
「カメラグランプリ'95」カメラ記者クラブ特別賞、カメラ記者クラブ(日本)  
「ベスト フィックスド レンズコンパクト1995」パビングカメラ誌(イギリス)  
「オーストラリアン コンパクトカメラ オフ ザ イヤー」  
オーストラリアンカメラ誌(オーストラリア)  
「ベスト フロップ ニュー」ポピュラーサイエンス誌(アメリカ)

R1

株式会社リコー 光学事業部 〒140 東京都品川区東品川3-32-3 TEL.03(5479)2901

記事・イラスト協力 ベンタックス販売株式会社  
写真提供 板倉 有士郎氏





二眼レフの最初の形態、2台の蛇腹付きカメラを上下に重ねたマリオン・レポーター。上がファインダー用、下が撮影用。このカメラ、二眼レフと言うより二眼カメラです。

「撮影は二眼で始まり、二眼で終わる」と言われたゆえんです。もつとも「このような賞賛は二眼レフを愛した人達の郷愁によるもので、実際は逆像で見にくく、撮影レンズとファインダーが離れているために、見た目とフィルム上の画像の範囲が異なるというデメリットもある」という人も

釣りが好きの間で言われている言葉に「釣りは鯛で始まって、鯛で終わる」というのがありますが、同じように昭和三十年代頃までは「撮影は二眼で始まり、二眼で終わる」と語られていた時代がありました。

なぜこんな言葉ができたのか、不思議に思われる方も多いことでしょう。カメラが登場する以前にさかのぼりますが、画家がレンズを使って景色や人物をスリガラスに投影し、写真のような絵を描いて売っていた時期があった

「二眼レフの特徴は「ファインダーの見え目の大きさとフィルムの大きさが同じであること」「6×6cmの正方形の画面であること」「手ブレが生じにくいこと」「シャッターが切られている中でも画像を見られること」などが挙げられます。

これらの特徴から、一眼レフを使用した撮影は、フレーミングの勉強にもなり、また、撮影もしやすいということが言えるわけです。これが「撮影は二眼で始まり、二眼で終わる」と言われたゆえんです。もつとも「このような賞賛は二眼レフを愛した人達の郷愁によるもので、実際は逆像で見にくく、撮影レンズとファインダーが離れているために、見た目とフィルム上の画像の範囲が異なるというデメリットもある」という人も

# 古き良き時代、一世を風靡した二眼レフカメラ。

知って得する写真おもしろ話⑧

写真提供・協力：日本シイヘルヘグナー株式会社  
マミヤ・オリビー株式会社  
ミノルタカメラ販売株式会社  
株式会社リコー

乾板時代から二眼レフはありましたが、1929年にローライが6×6cm判を出して人気を博し、日本では昭和十年代頃からブームが起こっています。特に二十年代から三十年代にかけて、二眼レフのブランドは60以上に増え、頭文字を集めるとAからZまでアルファベットの全文字が揃った（実際にはJ、U、Xはありませんでした）といわれるほどのブームを呼び、世界のカメラ史上、類をみない状況となりました。

昭和二十五年、ローライコードII型が四万二千円、ミノルタレフI型が二万四千円でしたが、リコーフレックスIII型が七千三百円（ケース付きで発売され、大人気となったこともありました。それでも当時の七千三百円は、大学卒の初任給の2倍程度だったそうです。その後、昭和二十五年を境に二眼レフの機能性に圧倒されて急速に二眼レフのブームも冷め、現在、日本のメーカーからは販売されていません。新品で出回っているのはロシア製と中国製だけとなりました。



日本シイヘルヘグナー130周年記念の漆を塗布したローライフレックス28GX



機能性で人気を博したミノルタオートコード型



二眼で唯一、レンズ交換ができたマミヤC330プロフェッショナルS



一世を風靡したリコーフレックスVII型



久しぶりに、ドキドキするカメラ。誕生。

新発売



この一眼レフは、ちょっと違う。思わず触りたくなる質感。手にしっくりくるフォルム。そして、目に見える使いやすさ。2つのダイヤルに撮影モードを集中。高度な機能も、正確にスムーズにコントロールできる。そのうえ、世界最小の軽量ボディを実現。ペンタックス(MZ-5)。久しぶりに、こんなにドキドキする一眼レフに会えた。



ダイヤル式小型・軽量AF一眼  
世界最小AF一眼  
**MZ-5**

希望小売価格(税別)  
MZ-5クォーツデットボディ(ブラック/シルバー).....73,000円  
MZ-5クォーツデットFAズーム28-70/4AL付.....103,000円

※平成7年10月12日現在。レンズ交換式35mmAF一眼レフで世界最小。

〒100 東京都千代田区永田町1-11-1 旭光学工業株式会社

京セラ株式会社

日本のカメラはこれになりました。  
ありがとうございました。



カメラグランプリ'95受賞

# CONTAX G1

●メーカー希望小売価格/本体：143,000円、ブラナーT\*45mm F2：37,000円、ゾナーT\*90mm F2.8：47,000円、ピオゴンT\*28mm F2.8：57,000円、ホロゴンT\*16mm F8：280,000円(消費税抜き価格) ●お問い合わせ：光学機器事業本部〒150東京都渋谷区神宮前6-27-8 TEL.03-3797-4611(代)



# 入賞作品発表!!

## キタムラ・インフォメーション

今、話題のインターネットにキタムラがホームページを開設!!

お買い得品・撮影名所・  
アドバイスなどの情報満載!

URL(アドレス)半角小文字 <http://www.kitamura.co.jp>

便利で楽しいパソコンの世界が、私たちの生活の中にどんどん広がっています。パソコンを活用して様々な情報を得るには、インターネットが抜群の機能を発揮してくれます。カメラのキタムラも、その豊富な情報を多くの人々に提供できるように、インターネットに「ホームページ」を設けました。ぜひ、ご活用ください。キタムラのホームページを開くには、上記のアドレスをキーボードで打って呼び出してください。トップ画面が表示されます。後はマウスでクリックするだけで、誰でも簡単に画面移動ができます。現在、次のようなメニューを設けています。



KITAMURA EXPRESS 路線図



グッドロケーション



フォトギャラリー



今週の一品

⑥キタムラのプロフィールカメラのキタムラとはどんな会社かを紹介しています。全国の店舗の所在地、電話及びファックス番号も掲載しています。ご利用ください。

第4回を迎えた「全国紅葉前線フォトコンテスト」に、1万点を超えるたくさんのご応募をいただきました。その中から上位入賞された作品をここに発表させていただきます。

### 審査員作品総評

数多くの作品を審査するのは大変でしたが、北から南まで全国の紅葉名所を見せられているようで楽しかったです。ただ、その中から絞ってゆくと、おのずから狙いがしっかりしている作品と、漫然と撮られた作品との差が出てきます。紅葉というのは、一見撮りやす

そうに見えて、実は奥の深い被写体だと私自身も撮影して思いますが、上位入賞した作品には迫力や説得力があり、私も今度紅葉に挑む時にはこのように撮ってみたいと刺激を受ける部分がありました。

### フォトコンテスト 審査員 秋山庄太郎氏



1920年 東京生まれ。早稲田大学卒業。早稲田大学卒業後、写真家協会、日本写真協会理事、全日本写真連盟副会長、[花の会]会長、日本写真芸術専門学校校長。86年に紫綬褒章受章。写真集は「花-365日 いちごいちえ」(日本カメラ社)、「薔薇薫る」(橋の葉書房)、「遊三味花-365日」(講談社)、「須賀川の牡丹」(橋の葉書房)、「新浄の花」(橋の葉書房)など多数。

## グランプリ 賞金30万円と楯〈1名〉

### 「紅葉の池」 池上雄司 福岡県久留米市



寸評・手前の方にわずかに見える赤と黄色の紅葉を上手に押さえておき、緑の部分とも調和している、いい撮影チャンスをとらえた作品です。ほぼ全体を入れた池も、決してつまらないように情緒を添えています。



池上雄司氏を天神池池内店長がインタビュー

池内店長 撮影された時の状況は？  
池上さん 11月初旬の午前中、晴れたり曇ったりで、池から強風が吹き上げていました。池内店長 作品の狙い、また撮影時に注意された点は？  
池上さん ブルーの池と、手前にある赤や黄色の紅葉との対比を印象的に表現したかったのですが、風が強かったので、止んだ一瞬を狙ってシャッターを切るのに苦労しました。池内店長 カメラ歴は何年くらいですか？また得意なジャンルはなんですか？  
池上さん 約20年になります。やっぱり自然や風景写真がいいですね。池内店長 今後の撮影予定は？  
池上さん これからも自然や風景の撮影を中心に、頑張っていくつもりです。

## 特選 賞金20万円と楯〈各部門3名〉

### リバーサルプリント部門



「彩」橋本修 奈良県大和高田市  
「秋景3」柳谷雅夫 徳島県板野郡  
「溪谷の印象」鈴木寛太郎 長崎県佐世保市

### ネガカラープリント部門



「大正池の朝」盆子原章 埼玉県坂戸市  
「岩陰の秋」小坂橋兵吉 群馬県前橋市  
「晩秋の湖畔」志賀野修市 新潟県上越市

## 準特選 賞金10万円と楯〈各部門5名〉

### リバーサルプリント部門



「晩秋の山」縣博 長野県松本市  
「湖面に写る紅葉」小原昭裕 新潟県新潟市  
「思い」今井秀幸 大阪府堺市  
「秋彩」田中昭三 広島県広島市  
「晩秋」柏村晴男 山口県小野田市

### ネガカラープリント部門



「秋よ、さようなら」植田寛 岡山県浅口郡  
「初秋」川口正雄 奈良県奈良市  
「銀杏の下で」和田勉 三重県四日市市  
「落葉の石段」黒瀬博恭 熊本県熊本市

カメラのキタムラ「全国桜前線フォトコンテスト」が、この春で第4回を迎えるにあたり、さらにスケールアップ！今回より装いも新たに「全国春の花」フォトコンテストとして、3月20日から6月5日の募集期間で実施されます。従来の桜に加えて春の花全般にわたる作品も大募集！グランプリ30万円をはじめ、賞金総額を500万円にアップして皆様の作品をお待ちしておりますので、ふるってご応募ください。なお詳しくは、カメラのキタムラ各店に設置の応募チラシまたはホスターをご覧ください。



第3回全国桜前線フォトコンテスト  
グランプリ作品「堂々と」吉野浩司氏

カメラのキタムラ  
第4回全国  
「春の花」フォトコンテスト  
全国桜前線フォトコンテストが、スケールアップしました!





(CONCEPT: TOTAL BALANCE)

「使いやすさ」の意味は、人によってそれぞれ違う。  
それがαの結論です。

それは、スムーズで、しかも素早い操作のための操作ボタンの独立と的確な配置。ボタンやダイヤルの位置や機能を一度覚えれば、ファインダーを覗いたまま、スムーズに、しかも素早く操作できる。それがα-707siの最大の特徴です。撮影に必要な情報はすべてファインダー内に表示され、各操作部材も機能的にレイアウト。さらに、使用頻度の高い機能のボタン類を可能な限り独立させることで、シンプルで快適な操作を実現しています。使い込むほどに誰もが実感するこち好き。それは、高いポテンシャルと使いやすさの両立をめざした、私たちミノルタからのひとつの回答です。



まっすぐな好性能。  
**α-707si**

●ワイドフォーカスエリア(ローカルフォーカスエリア選択可能) ●マルチ動体予測フォーカス制御 ●AF連動3コマ/秒連続撮影 ●AF制御自動切り替え ●高感度AF(EV-1~19(ISO100)) ●AF優先/リリース優先切り替え可能 ●AF補助光機能 ●Pモード(シーン自動判別プログラム)・Aモード・Sモード・マニュアル ●14分割ハニカムパターン測光・スポット測光・中央重点的平均測光 ●スポットAEL機能 ●シャッター速度1/8000秒~30秒・B ●フラッシュ内蔵(ガイドナンバー12(ISO100)・m) ●手動アップ/ダウン ●赤目軽減機能 ●ハイスピードシンクロ(5400HS使用時) ●ワイヤレスフラッシュ(5400HS/xi・3500xi使用時) ●登録機能 ●測光インジケータ ●露出補正 ●フラッシュ調光補正 ●プレビュー機構 ●2コマ多重露光機能 ●アラート機能 ●ハイイボインテリジェントファインダー ●ファインアキュートマウント焦点板 ●フィルム感度変更記憶機能 ●パノラマ途中切り替え可能 ●アイスタートシステム(ON/OFF可能) ●インテリジェントカード使用可能 ●大きさ:153.5(幅)×98.0(高さ)×71.5(奥行)mm ●重量:605g(電池別) ●希望小売価格(税別) ●α-707si AFズーム24-85mm F3.5-4.5付……………¥147,000 ●α-707si ボディ……………¥95,000 ●AFズーム24-85mm F3.5-4.5……………¥52,000(フード付)・ケース¥2,000(別販売) ●AFマウントズーム100-300mm F4.5-5.6 ¥70,000(フード・ケース付) ●プログラムフラッシュ5400HS ¥47,000(ケース・ミニスタンド付) ●縦位置コントロールグリップVC-700 ¥18,000 ●ホルディングストラップHS-700 ¥2,000

■α-siシリーズを詳しく紹介したカタログを差し上げます。官製はがき住所・氏名・年齢・機種名を記入の上、右記までお送りください。〒108 東京都港区高輪2-19-13(NS高輪ビル) ミノルタ株式会社 宣伝部 写友係 ●α-siシリーズのお問い合わせフリーダイヤル☎0120-493-881 ●お客様商品相談窓口 ☎(03)5423-7555 ☎(06)271-2641

読者のページ

# 写友缶ふれあい広場

## フォトコーナー



全国区人気のモモイロペリカンのカッタ君です。撮影中に目前に寄って来てくれました。於 宇部市・常盤公園  
広田 和夫様 山口県宇部市

「ゆうた、じいちゃん、おんなーじ」祖父ちゃんのめがねをすく取るので、いらぬめがねを渡したら大喜び。  
片山 迪子様 広島県広島市



## お便りコーナー

先号だったか、先々号だったか、通信教育で指導を受けている先生が載っていたのをきっかけに、写友缶を読み始めました。カメラ雑誌のダイジェスト版みたいで、おもしろく読ませていただいています。キタムラの気になっている点は、写真に関するものなら何でもとりよせてもらえること、値引率がいいことです。フィルム、機材類は全面的に利用しています。

清家 弘規様 愛媛県東宇和郡



してられないという喫茶レストランでした。岡山市から倉敷市に行く途中の郊外に、国道2号線に面して、昭和60年の夏までは確かにありましたが、何でも、それを見ていたドライバーに事故が多かったとかで廃止されたと聞きました。ネガが紛失して複写してありますが、写真は間違いない私が撮ったものです。万一載れば「あ、見たことある」という人が沢山いるはずですよ。

戸川 秀生様 岡山県岡山市

私は岡山市内に居住して45年になります。カメラのキタムラとは約20年前、開店当初の岡山駅前店にいた村上店長や神原英雄氏、また林店長、最近までいた水田店長、今の増田店長と、永い付き合いで、カメラ、D.P.と利用させて戴いています。この写真は手持ちの写真の中から選んだもので、ポイントカードのポイントが25,000点になった記念に送りました。今はもう取り壊されてありませんが、ギネスブックにも載った逆さの建物で、中の作りも全部逆さです。とても30分も食事を



## お便り&傑作写真 大募集!

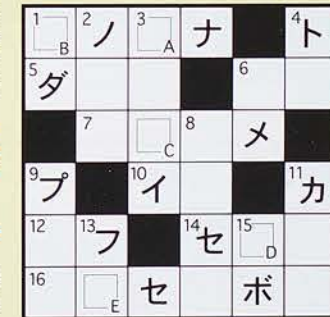
このコーナーでは、皆様からの楽しいお便りや、傑作写真にコメントを添えた投稿を募集しています。掲載させていただいた方には粗品を進呈いたします。ハガキ・封書での送り先は、〒222 横浜市港北区新横浜2-4-1 カメラのキタムラ「写友缶ふれあい広場」係まで。お便りは、ファックス番号045-476-0778でも受けつけております。また、お近くの「カメラのキタムラ」に直接お持ちいただいても結構です。読者の皆様からのたくさんのご応募をお待ちしています。

## 編集後記

春といったらまず連想されるものは、やっぱり花。というわけで、今号の特集テーマは「華」、そして「THEフォトワールド」のテーマを「フラワー写真の世界」として、ハナバナしく(?)お贈りいたしました。いかがでしたでしょうか。花といえば、我々写真ファンにとっても絶好のモチーフ。そこで皆さんにもおなじみの「全国桜前線フォトコンテスト」もスケールアップし、装いも新たに「全国「春の花」フォトコンテスト」として実施されることになりました。桜はもちろん、春に咲く花をモチーフとした作品なら何でもOKですので、18ページの応募要項をお読みになり、皆さんの傑作・力作をふるってご応募ください。さて、次号は6月1日発行となる夏号。特集ページでは、夏のイメージにぴったりな雄壮・雄大の「雄」をテーマとして取り上げますので、どうぞご期待ください。

## プレゼントが当たる!クロスワードパズル

問題:クロスワードに答えて、A~Eのマスの中をつなぐとある言葉になります。その答えとあなたの住所・氏名・年齢・職業をハガキに書いてご応募ください。正解者の中から抽選で30名の方に、粗品を進呈いたします。あて先:〒222 横浜市港北区新横浜2-4-1 カメラのキタムラ 写友缶「クロスワードパズル」係 締め切り:5月31日(当日消印有効)



〈今月のカギ〉  
1. 京都の地名。酒の産地として有名です。  
2. のんびりとしていること。  
3. 北方四島のひとつ。  
4. 残念ながら日本産のものは絶滅してしまいました。  
5. 指先についているもの。  
6. 適当な人を選び出すこと。  
7. チェコの中心都市。  
8. 家に代々伝わっている教訓。  
9. 有難いな人を選び出すこと。  
10. 利の反対語は?  
11. ここを押すと気持ちよくなります。

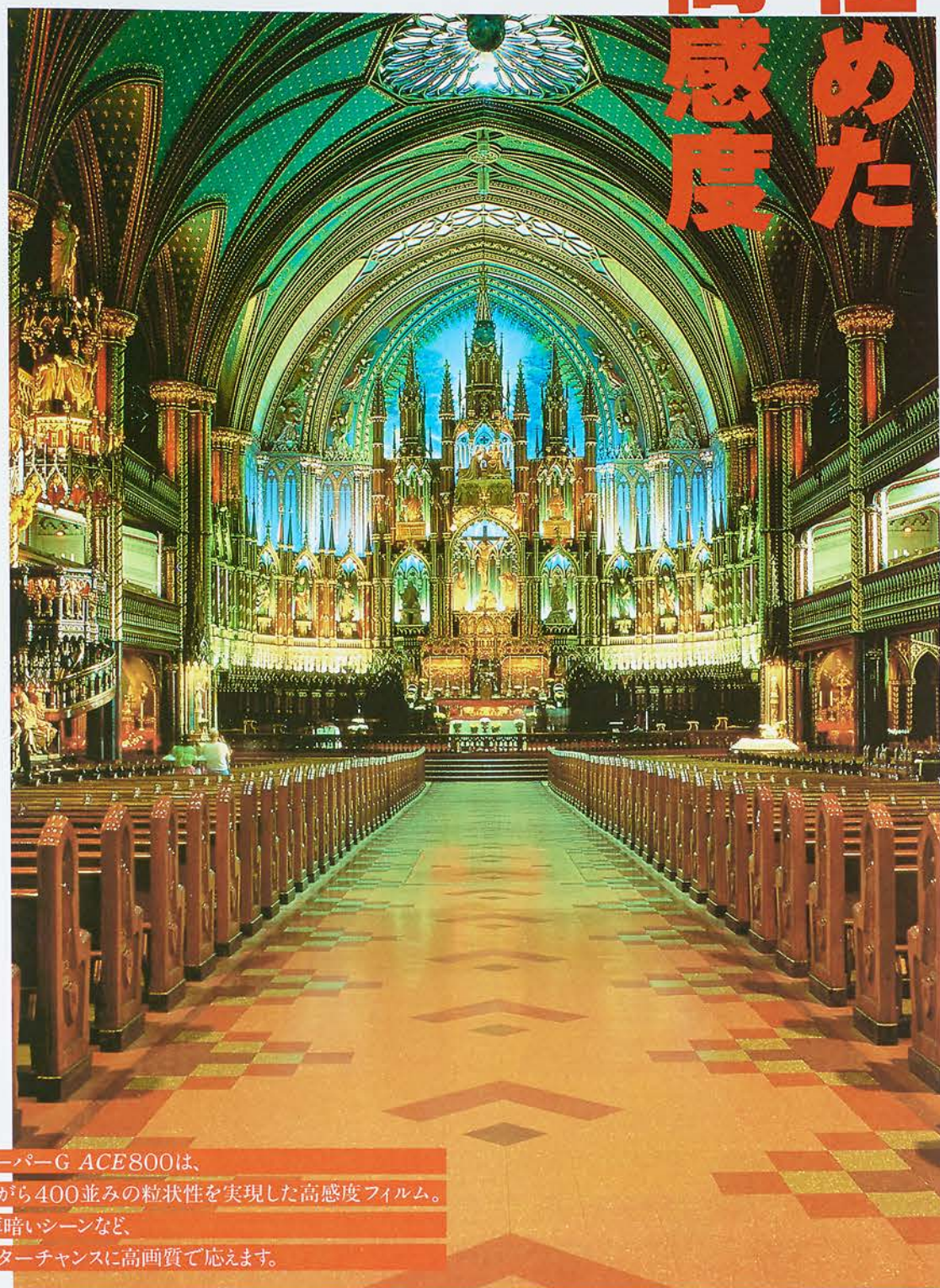
答え =  
○○○○○  
(ヒント:4月にお寺で行われる行事です。)

※前号の正解は「ユキゲシキ」でした。当選者の発表は、賞品の発送をもってかえさせていただきます。

〈ヨコのカギ〉  
1. 「おぼろ月夜」の歌にも出てくる春の花。  
5. ディズニー映画に出てくる耳で空を飛べる象。  
6. ○○に代わっておしおきよ!  
7. 冗談ひとつ言わないような人をこういいます。  
10. 「陽」の反対語は?  
12. ゴルフフェアウェイではない所をこういいます。  
14. ひなまつりは桃の○○○。子供の日は端午の○○○。  
16. ウソついたら○○○○○飲~ます!



高感度  
極めた  
画質を



フジカラースーパーG ACE800は、  
ISO800ながら400並みの粒状性を実現した高感度フィルム。  
速い動きや薄暗いシーンなど、  
幅広いシャッターチャンスに高画質で応えます。

**FUJICOLOR**  
**SUPER G ACE**  
**800**

